

# 議会だより

みなみふらの



**第3回定例会概要**

**2～3 P**

**一般質問**

**4～5 P**

**研修会**

**6 P**

**町長の行政報告**

**7～8 P**

**議会の動き**

**8 P**



# 9月定例議会

平成27年第3回定例町議会は、9月14日に招集され、会期を9月14日から15日までの2日間と決めた後、町長の行政報告3件と、議会運営委員会及び総務常任委員会報告、議員派遣報告があり、1議員による一般質問が行われました。(質問の内容と答弁の要旨は4〜5ページに掲載)

その後、報告案件として平成26年度南富良野町健全化判断比率及び資金不足比率の報告を受けました。引き続き、平成27年度一般会計補正予算

他2特別会計補正予算について、審議の結果、原案のとおり可決し、1日目を終了しました。

2日目の9月15日は、個人情報保護条例、手数料徴収条例の一部改正、北海道町村議会議員公務災害補償等組合等の規約改正計3件について、審議の結果、原案のとおり可決。教育委員会委員の任命について、無記名投票で採決が行われ、全議員の賛成で原案のとおり同意することに決定しました。その後、本年9月任期満了となる選挙管理委員

会委員及び補充員の選挙が指名推選により行われました。

平成26年度一般会計ほか各特別会計歳入歳出決算の認定については、議員6名による決算審査特別委員会を設置、付託し、閉会中の継続調査とすることに決定しました。また、議員提出による意見書案1件についても、審議の結果、原案のとおり可決し、全ての日程を終え定例町議会を終了しました。

## 一般会計補正予算の主なもの

- ・ 強い農業づくり交付金 1691万円
- ・ 落合跨線人道橋補修工事に伴う負担金 Δ1600万円
- ・ 黄金橋橋梁補修工事 529万円
- ・ 橋梁定期点検委託料 266万円
- ・ 物産センター厨房排水改修 244万円
- ・ 教員住宅・職員住宅修繕料 171万円
- ・ 商工業等起業支援事業補助金 154万円

- ・ 農業委員会費用弁償・旅費 146万円
- ・ 通知カード・個人番号カード関連事務の委任に係る交付金 95万円
- ・ 町史編集事務臨時職員雇上賃金・共済費 92万円
- ・ 南富良野小・中学校木質チップポイラー清掃委託料 87万円

平成27年度各会計補正予算	補正額	補正後
一般会計	2318万円	43億2998万円
国民健康保険事業特別会計	—	4億3154万円
後期高齢者医療事業特別会計	—	4091万円
介護保険特別会計	50万円	2億6787万円
簡易水道事業特別会計	223万円	2億4097万円
公共下水道事業特別会計	—	1億1848万円
合計	2591万円	54億2975万円

条例の一部改正

○南富良野町個人情報保護条例

「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（通称番号法）」の公布により、平成28年1月から「マイナンバー制度」が始まります。

番号法で個人番号は個人を識別するための重要な特定個人情報と位置付けられ、行政

事務手続きに活用する場合は、より厳格な管理や保護措置を講じるよう定められたため、

必要な措置を追加しました。

○南富良野町手数料徴収条例

マイナンバー制度の導入による個人番号カード再交付の手数料を追加しました。

人事案件

○教育委員会委員の任命

大神裕全氏（幾寅）を教育委員に任命したいとして同意を求める議案が町長から提出され、無記名投票による採決の結果、全議員の賛成により任命に同意しました。

○選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

南富良野町選挙管理委員会委員の任期満了（9月28日）に伴い、地方自治法の規定により、議会において選挙管理

委員及び補充員の選挙が行われました。選挙の方法は本会

議において議長の指名推選により行なわれ、次の方々に決

定しました。

選挙管理委員

鈴木 政春氏（下金山）

齋藤 保子氏（金山）

水口 孝司氏（幾寅）

新野 昌子氏（落合）

補充員（補充順位順）

① 山内 茂樹氏（幾寅）

② 久保田智彦氏（北落合）

③ 森川 光義氏（金山）

④ 前川原淑江氏（下金山）

その他の案件

○北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更

○北海道市町村総合事務組合規約の変更

○北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

決算審査特別委員会の設置



監査意見を述べる  
塩貝代表監査委員

平成26年度各会計歳入歳出決算の認定について、町長からの提案説明に引き続き、塩貝代表監査委員から各会計の決算の監査意見が述べられ、議長及び議員選出監査委員を除く、議員6名で構成する決算審査特別委員会を設置して審議するよう付託され、閉会中の継続調査とすることになりました。

委員会の構成

委員長	小出 直由
副委員長	川村 勝彦
委員	大道 重治
委員	酒井 年夫
委員	金 強
委員	阿部 修一

議決された意見書（要旨）

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

1. 京都議定書第二約束期間における森林吸収量の国際的な算入上限値3.5%分を最大限確保するため、「地球温暖化対策のための税」の用途に森林吸収源対策を位置づけるなど、森林整備や木材利用のための安定的な財源を確保すること。
2. 森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用安定化を図るため、公共事業である森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。
3. 川上から川下に至る総合的な対策を地域の実情に合わせて柔軟に展開するため、「森林整備加速化・林業再生対策」を恒久化し、財源を確保すること。

【提出者】金 強 議員 【賛成者】阿部修一 議員・大道重治 議員

【提出先】衆・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・文部科学大臣・農林水産大臣  
経済産業大臣・国土交通大臣・環境大臣・復興大臣

議決された意見書は、議長名でそれぞれの関係省庁に提出しています。

# 一般質問 (要旨)

## 酒井 年夫 議員



### ◆農業生産法人の設立

**酒井** 執行方針で農業生産法人の設立に力を入れていくとあるが、農業者が生産法人を設立することについて、どのように考えているのか。町の農業の現状からいくと生産法人というものが必要なのか。また、各地区の農業者にどのような説明をしているのか。

行政としてこの農業生産法人設立に本腰を入れてやっていくのか。設立することによるメリット、デメリットを踏まえているのか。他の関連組織と具体的な論議がされているのか。

については、北落合地区で1件が農業生産法人の設立を目指して検討を始めていると聞いている。

また、下金山地区の方々の現在8戸が組織をする下金山作業受委託組合が法人化に向けた先進地の視察や検討会を行ってきた中で、8戸の個々の農業者が生産法人化をすることの難しさ、さらには下金山地区の将来の農業のために必要とする農業生産法人の方向性を決定することの難しさもあり、現在法人化の目途は立ってはいない。しかし、下金山地区においても、今後予想される後継者のいない農業者の離農跡地の流動化が大きな課題であり、その解消のため、農業生産法人がその受け皿として必要ではないかとの考えから、法人化に向け、引き続き検討を行っている。

町としては、上川農業改良普及センターなどと連携を図りながら、これらの取り組みの推移を見守り、そのときが来たならば、行政として支援をできるものについては支援をしていきたいと考えている。

### ◆金山地区福祉交流センターの運営

**酒井** 金山の高齢者生活支援ハウス和楽園には、まだ単身用に空きがあるはず。これが埋まる用途がいついたのか。4月にオープンしてから、9月の半ばで埋まらないという現況は町の担当課の責任ばかりではないか。思っているが、地域事情を押さえるのが少し甘かったのではないか。今後、このような施設を他の地区につくるときには、よほど考えないとこういう結果に陥る。

施設を各地区に分散していくと後々の維持管理など非効率的な問題があり、地区事情によつては、せつかく多大な経費をかけても、なかなか埋まっていけないことになる。

**町長** 本施設は、高齢者の生活に必要ですが、和楽園は町の施設ですから、基本的には町が埋める算段をしなければならぬ。今後、空き室対策、運営をどう考えているのか。また、現在、管理する職員が何名いるのか。

**問** 行政として農業生産法人設立の具体的な指針を示すべきでは

**答** 法人設立は一つの手段であり、個人経営の後継者が育っていくことが基本

**町長** 農業生産法人は、農業者が構成員となつて農業を営む法人組織で、現在も個人経営が大半を占める農業経営の中で、近年の後継者不足による地域農業の維持や離農跡地の解消、集团的営農による経営体制の強化を目指した一つの経営形態である。法人化による制度上のメリットは、節税、さらには制度資金の優遇措置もあり、経営の合理化に大きなメリットがあると理解している。本町での取り組み

については、北落合地区で1件が農業生産法人の設立を目指して検討を始めていると聞いている。



活支援ハウス、金山保育所、老人憩いの家の3つの機能を有する福祉複合施設として、本年の4月に開設した。現在は、それぞれの機能として順調に経営が図られている。その中の高齢者の入居施設部分である和楽園の利用状況については、夫婦用2室は2室とも入居をしているが、単身者用の6室のうち3室が空き室となっている。計画時には、単身で同施設の入居候補者として想定していた方が十数名いたが、施設整備が完了するまでの間に、事情が変わり入所希望を取り下げたケースもあり、6室全部が埋まっていない状況である。これまで金山と下金山地区を中心に入居希望を行ってきたが、オープンから5カ月経っても3室空いている。くるみ園は部屋数に限りがあり、常に満室状態になっている。幾寅、落合、北落合地域にお住ま



いの方から施設利用の照会も現実にあるので、和楽園の全室利用に向けて町内全域に公募して埋める努力をしていく。  
**【保健福祉課長】** 職員体制ですが、日中の援助員については、職員3名が交代で勤務し、夜勤についても、2人体制の計5名で毎日交代をしながら管理運営を行っている。

### ◆全国学力テスト

**【酒井 新聞等の報道を見ると、** 北海道の児童・生徒の学力が非常に低い結果であった。小学6年生と中学3年生を対象に全国でテストが実施されたが、本町は全国平均、全道平均から比べてどのような状況にあったのか伺う。結果を見ると毎年、秋田県や福井県の小中学校が全国平均のはるかに上、常に5番以内に入っているが、生徒は毎年入れかわっていくので、生徒の資質の問題ではないはず。

北海道は小学生が最下位で中学生が30番という状況は生徒の資質の問題なのか、地域の問題なのか、学校の指導方法の問題なのか。当然、教育委員会として校長会等で話をしていると思う。どこに原因があると判断しているのか伺う。

**【教育長】** 南富良野小学校、金山小学校、下金山小学校の3校と南富良野中学校において、本年4月21日に全国一斉に調査を実施した。調査の対象は、小学校が6年生で町内児童数21名、中学校が3年生で生徒数27名。今年度の実施科目は、国語、算数・数学、そして今年度については、理科の3教科が実施となった。この調査結果については、8月25日に文部科学省が公表し、翌日に新聞報道された。残念なことですが、小学校が47都道府県の最下位、中学校が30位となった。

小学校は、全ての教科において全国平均、全道平均を下回り、中学校は、実施教科全てにおいて全国、全道平均を大きく上回る結果となった。この結果を受け、既に校長会、教頭会の中で同時に行われた生活習慣状況、学習状況について分析も指示をしてきている。道教委では全道的に前回の結果よりも正答数が若干改善されたと分析をしている。

■2015全国学力テストの結果

		単位：%		
		全国平均	全道平均	南富良野
小学校	国語 A (基礎)	70.0	68.1	58.8
	国語 B (応用)	65.4	63.0	58.7
	算数 A (基礎)	75.2	72.3	67.6
	算数 B (応用)	45.0	42.5	37.0
	理科	60.8	59.3	53.4
中学校	国語 A (基礎)	75.8	75.8	84.1
	国語 B (応用)	65.8	65.7	70.4
	数学 A (基礎)	64.4	63.0	71.0
	数学 B (応用)	41.6	39.7	52.8
	理科	53.0	53.3	69.9

※数値は問題数に対して正答数の割合※理科は5年に1度実施

小学校が一部分において大きく下回ったが、中学校は上川管内でも非常に優秀な結果であった。小学校の結果をそのまま中学校に上がることなく、これから残された期間、十分に基礎、基本の学習の定着を図りながら中学校に進学していくことが必要である。また、中学校については、義務教育9力年の集大成として、いい結果で終わつたと分析している。

# 平成27年 第5回 臨時議会 8月21日

第5回臨時会は、8月21日に招集され、提案された議案を原案のとおり可決し、閉会しました。

## ■補正予算（一般会計）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1430万5千円を追加する補正予算を原案のとおり可決しました。この補正予算により一般会計の歳入歳出予算の総額は43億679万5千円となりました。

## ◇補正予算（歳出）の主なもの

・寄附報償費 60万円

ふるさと納税寄附者に対する返礼品購入経費を追加するものです。

## ・まちづくり応援基金積立金

373万円

まちづくり応援寄附金の増に伴い、基金への積立金を増額するものです。

・二酸化炭素排出抑制対策事業計画策定委託料 997万円

公益財団法人日本環境協会が公募する先導的低炭素循環自然共生型地域創生事業について、本町のバイオマスエネルギーを活かした再生エネルギーによる南富良野町活性化事業の計画策定に伴う委託料を追加するものです。

## ◆財産の取得

取得しようとする動産	スクールバス (33人乗) 1台	スクールバス (29人乗) 1台
契約の方法	指名競争入札	指名競争入札
契約金額	988万2千円 うち消費税及び地方消費税の額 73万2千円	810万円 うち消費税及び地方消費税の額 60万円
契約の相手方	株南富自動車 サービスエリア	株幾寅自工 総合センター

## 議会広報研修会

(札幌市)

8月19日、北海道町村議会議長会主催による議会広報研修会が札幌市において開催され、6人の広報委員が参加し広報紙づくりの基本を学びました。

研修会は、講師にグラフィックデザイナー長岡光弘氏を招き「議会広報紙の表現基本」と題した講義が行われ、住民に読んでいただくための紙面編集の工夫について学びました。



## 富良野沿線議会議員研修会

(上富良野町)

10月5日、上富良野消防庁舎において、富良野沿線市町村議会議員研修会が開催され、本町議会から6名の議員が出席しました。

北海道保健福祉部健康安全局国保医療課長望月泰彦氏を講師に招き、平成30年度から市町村とともに北海道が運営を担うこととなる国民健康保険制度の見直しについて、講演が行われました。



## 上川管内町村議会議員研修会

(当麻町)

10月27日、上川町村議会議長会主催による管内議会議員研修会が当麻町において開催され、7名の議員が参加しました。

東京大学大学院農学国際専攻教授鈴木宣弘氏による「TPP交渉について」、経済ジャーナリスト須田慎一郎氏による「日本経済の課題と展望」と題した講演を拝聴しました。



講師：須田慎一郎氏



講師：鈴木 宣弘氏

# 町長の 行政報告



## ■建設工事等の進捗状況

本年9月10日現在の町発注工事等の進捗状況であります。が、平成26年度予算繰越明許費分の統合小学校校舎改築工事は、順調に工事が進められており、工期内に完成する見込みであります。

当初予算計上分では、斎場屋根改修工事、幾寅グリーン団地屋根外壁塗装工事、幾寅地区教員住宅屋根外壁塗装工事、町職員住宅解体工事が完了し、下金山小学校屋内運動場トイレ改修工事、新幾寅団地及び幾寅グリーンハイム改修工事、金山・下金山地区簡易水道施設整備工事、各地区の水道メーター器定期取りか

え工事ほか2件は、工期内に完了する見込みで、順調に工事が進められております。

土木工事の東幾寅線改良工事、下金山黄金の沢川排水路改修工事、林業専用道久住川向線開設工事は、工期内に完了する見込みで、順調に工事が進められております。

本年度建設工事の発注予定件数24件のうち、23件の発注を終え、発注済み契約金額は合計で9億9890万円であり、残ります。

委託事業の幾寅保育所改築に伴う設計委託事業、幾寅東団地建設に伴う設計委託事業につきましては、履行期日までに完了するよう進められております。



## ■農作物の生育状況

9月1日現在の農作物の生育状況についてご報告申し上げます。

農業委員会の作況調査報告によりますと、今年の融雪は3月下旬の好天により、平年より1週間ほど早く、融雪後も天候に恵まれ、植えつけや播種作業は、平年より数日早まりました。その後6月から7月上旬の天候不順、日照不足などにより、各作物に与える影響が懸念されておりましたが、その後の天候回復により、ほとんどの作物について順調な生育となつたところであり、主な作物の生育状況について申し上げますと、水稲は6月の天候不順などの影響により、数日の生育おくれで推移しておりますが、7月中旬から8月の好天により、草丈が短目ではありますが、もみ数は多く、作柄は「並」であります。

馬鈴薯及び人参については、融雪が早く、まきつけ作業が



順調に進み、その後の低温傾向で生育おくれがありました。7月中旬からの好天により、生育のおくれが回復され、作柄は「並」であります。小麦は、生育期間が高温に恵まれ、降雨が少な目で推移した影響により、生育が進み、作柄は「良」であります。

9月1日現在の主要作物別の作況指数は、次のとおりであります。

水稲	99%	並
馬鈴薯	100%	並
人参	99%	並
小麦	110%	良
大麦	100%	並
玉ねぎ	100%	並
スイートコーン	100%	並
そば	100%	並
甜菜	103%	やや良

今後収穫が進むにつれ、製品歩留りや収量が明らかになつてまいります。本年については、全体的に平年「並」の収穫が予想されております。

## ■町内郵便局との窓口業務の連携

住民生活の利便性の向上と地域の郵便局の存続、さらには行政の効率化の観点から、下金山、金山、落合地区のそれぞれの郵便局での住民票などの交付と公共料金の収納を含めた連携について、町政執行方針におきまして、本年度



中の実施に向けて、郵便局と協議を進めることとしておりましたが、今般、日本郵便株式会社等との事務協議と事務開始に伴う諸準備が整いましたので、10月1日から各郵便局におきまして、住民票の写し、印鑑登録証明書、納税証明書、所得に関する証明書の交付業務を開始させていただきます。また、このことにより、現在実施しております巡回窓口業務につきましては、9月30日をもって終了させていただきます。

## 議会の動き

平成27年 8月～10月

- 8月9日 ○衆議院議員ささき隆博ふるさとの集い(旭川市)
- 11日 ○根室本線対策協議会総会(富良野市)
- 19日 ○議会広報研修会(札幌市)
- 21日 ○第5回町議会臨時会  
○議会運営委員会○総務常任委員会
- 24日 ○陸上自衛隊上富良野駐屯地幹部異動に伴う歓迎会(上富良野町)
- 26日 ○北海道旅客鉄道株式会社への要請活動(札幌市)
- 27日 ○福祉スポーツ大会
- 31日 ○総務常任委員会
- 9月5日 ○南富良野大乗会ふれあいフェスタ
- 6日 ○フォレストタウン記念植樹祭
- 8日 ○議会運営委員会
- 14日 ○第2回町議会定例会
- ～15日 ○議会運営委員会○全員協議会  
○総務常任委員会  
○議会広報特別委員会

- 9月30日 ○札幌南ふらの会交流会(札幌市)
- 10月5日 ○富良野沿線市町村議会議員研修会(上富良野町)
- 15日 ○上富良野駐屯地の現状規模の堅持  
～16日 及び上富良野演習場拡張に関する中央要望(東京都)
- 20日 ○上川管内町村議会議長研修会  
～21日 (比布町)
- 21日 ○富良野沿線市町村議会秋期議長会(富良野市)
- 24日 ○本部町役場新庁舎落成式典祝賀会(沖縄県本部町)
- 27日 ○上川管内町村議会議員研修会(当麻町)
- 30日 ○富良野広域連合議会定例会

## 議会を傍聴してみませんか



本会議の生中継映像をインターネットで配信していますので、ぜひご視聴ください。

町議会は、定例会が年4回(3月・6月・9月・12月)開かれ、そのほか臨時会が必要ある時に開かれます。

この定例会、臨時会のいずれの議会も公開されています。議会の傍聴席(21席)は、役場の2階にあります。町政の運営状況や議員の活動状況を知るためにもよい機会ですので、議会を傍聴してみたいかがでしょうか。

次の定例会開催日

12月16日から18日(予定)

役場議会事務局 ☎52-2114

### ●あとかき●

師走に入り、慌ただしく感じる時期となりました。寒さが日一日と増しています。お風邪など召されませぬようご自愛ください。

ご家族健康でよき新年を迎えられますようお祈りしています。